

## 京都市市民スポーツ振興計画（H28.3 改定版）掲載事業と主な実施状況（R3.12 末時点）

掲載事業		実施状況	主な実績
1 する スポ ーツ	<b>1 アセットマネジメントの推進</b> 本市のスポーツ施設・設備について、長寿命化計画を策定し、アセットマネジメントにより限られた施設の延命と有効活用を図ります。	長寿命化計画を策定・充実し、計画的な整備、改修による、施設・設備の延命と有効活用を推進。	<b>【長寿命化計画の策定】</b> たけびしスタジアム京都（H26 年度）、 2ha 以上の都市公園のうち、河川敷 2 公園を除く 13 公園（西京極総合運動公園等）について追加策定（H30 年度） 京都アクアリーナ追加策定予定（R3 年度） <b>【長寿命化計画に基づく計画的な工事の実施】</b> 伏見北堀公園地域体育館屋根（R2 年度） 小畑川中央公園テニスコート照明（R2 年度）
	<b>2 環境にやさしい効率的な設備の推進</b> 太陽光発電やエネルギー効率のよい設備の導入等を積極的に図ります。	太陽光発電の設置、LED 照明等への改修など、環境に配慮した施設の整備、設備の導入を推進。	<b>【太陽光発電の設置】</b> 京都市体育館（H25 年度）、宝が池公園運動施設体育館（R 元年度） <b>【LED 照明への改修】</b> 宝が池公園運動施設体育館（R 元年度）、小畑川中央公園テニスコート（R 2 年度） 武道センター本館（R2 年度）
	<b>3 ひとにやさしい施設の改修・整備</b> 施設の改修・整備に際しては、観客席、更衣室、通路、トイレなどのバリアフリー化やユニバーサルデザインの理念に沿った施設のあり方を追求します。	トイレ等の改修をはじめとする施設、設備のバリアフリー化、ユニバーサルデザインの理念による改修、整備を推進。	<b>【トイレ改修・バリアフリー化】</b> たけびしスタジアム京都（府市協調：H28 年度～）、 横大路運動公園（府市協調：R 元年度～）、 <b>【ユニバーサルデザインの理念に沿った施設】</b> 宝が池公園運動施設体育館（R 元年度）
	<b>4 府市協調などによる施設整備</b> 京都府との協調による西京極総合運動公園や横大路運動公園などの整備に加え、水垂運動公園（仮称）や宝が池公園体育館（仮称）の早期完成を目指して取組を進めます。	西京極総合運動公園、横大路運動公園など、府市協調による整備を推進。水垂運動公園（仮称）整備手法を検討。宝が池運動公園施設体育館が完成し、令和元年 9 月に開館。	<b>【府市協調】</b> （たけびし）大型映像装置・新メインゲートの整備（H27 年度） メインスタンド諸室・トイレ改修（H28 年度～R2） （横大路）運動公園再整備・防災機能強化（園路整備）（R 元年度～） <b>【西京極】</b> 補助競技場の 3 種公認継続に向けた改修（R3） <b>【宝が池】</b> 体育館新設（R 元年度） <b>【水垂】</b> 整備基本計画の見直し策定（H28 年度） 官民連携手法等導入可能性の検討等（H29～R2 年度） <b>【伏見桃山】</b> スタンドの改修、LED スコアボードの設置（H25～26 年度） <b>【吉祥院】</b> 野球場改修工事（H25 年度）
	<b>5 スポーツ施設の在り方に関する将来構想の策定</b> 既存施設の利用状況や競技ニーズの多様化、今後の施設改修・整備の進捗状況などを踏まえ、長期的な観点から、必要数や規模、最適配置など本市スポーツ施設のあり方に関する将来構想の策定を進めます。	施設の長寿命化計画を策定・充実するとともに、水垂運動公園（仮称）整備の検討。	<b>【長寿命化計画の策定・充実】</b> たけびしスタジアム京都（H26 年度） 2ha 以上の都市公園のうち、河川敷 2 公園を除く 13 公園について追加策定（H30 年度） 京都アクアリーナ追加策定予定（R3 年度） <b>【水垂】</b> 官民連携手法等導入可能性の検討等（H29～R2 年度）

掲載事業		実施状況	主な実績
1 する スポ ーツ	<b>6 ネーミングライツ契約を活用した施設整備</b> わかさスタジアム京都（西京極総合運動公園野球場）やハンナアリーナ（京都市体育館）の導入事例を踏まえ、新規導入や継続、新たな手法の検討に取り組むとともに、ネーミングライツ収入を効果的に活用して施設の整備・改修を進めます。	ネーミングライツ契約を活用した施設整備、改修を実施。新たなネーミングライツを導入するために、11施設を通称付与の対象施設に設定。	<b>【わかさ】</b> グラウンド全面改修、諸室・スタンド一部改修等（H21年度～）、観客席個席化（R2年度～） <b>【京都市体育館】</b> 耐震・諸室等の大規模改修（H24～25年度） <b>【宝が池フットサル】</b> 人工芝張替え（H30年度） <b>【たけびし】</b> 1種公認継続に向けた芝・走路改修、諸室改修、照明等改修に向けた調査・検討（R2年度）
	<b>7 身近なスポーツ環境の整備</b> 身近な公園や広場などに軽い運動や健康づくりのための設備、器具などの設置に取り組みます。	運動公園のほか、身近な公園、広場に健康づくりのための環境整備	<b>【健康遊具設置公園数】</b> 既存設置公園数（R3.12現在）：128公園
	<b>8 市民に身近な施設の利用促進</b> 学校の夜間利用など、生活圏にある施設の利用促進を図ります。	夜間校庭開放事業等による学校施設の利用を促進。老朽化した照明設備について順次改修。	<b>【校庭開放事業】</b> 小中学校での夜間校庭開放事業の実施（照明設置213校） 学校体育施設開放事業（R3：204校） <b>【照明改修】</b> 老朽化した照明を順次改修中（R元：4校、R2：6校、R3：5校予定）
	<b>9 施設の柔軟な管理運営及び良質なサービスの提供</b> 市民のライフスタイル（くらし方・生き方）、生活時間の変化により多様化するニーズに応えるため、指定管理者と連携し、施設の開所時間の拡充や無料開放日の設定など管理・運営を柔軟なものとし、良質なサービスを提供します。	一部施設の供用時間の拡大や無料開放日の設定など、指定管理者と連携したサービス向上の取組を実施。	<b>【供用時間拡大、時間外利用の実施】</b> わかさスタジアム京都の供用時間拡大（午前9時→7時、H25年度～） 京都アクアリーナにおいて開所時間（9:00～21:00）外での利用を実施 <b>【正月無料開放日の設定】</b> たけびしスタジアム京都、補助競技場、宝が池公園運動施設球技場、岡崎公園野球場
	<b>10 競技ニーズの多様化に対応した受け入れ種目の拡充検討</b> 競技ニーズの多様化に対応して、障害者スポーツへの対応を含め、各施設で受入可能な競技種目の拡充を検討します。	一部施設でフェンシングやテックボール、スケートボードの受入を試行実施するなど、利用者、団体等の要望に応じて競技種目を拡充。	<b>【フェンシング試行実施】</b> 伏見北堀公園地域体育館（R元年度） <b>【テックボール試行実施】</b> 岩倉東公園及び桂川緑地久我橋東詰公園（R元年度） <b>【スケートボード試行実施】</b> 宝が池公園、小畑川中央公園、横大路運動公園（R3年度）
<b>11 気軽に体を動かすための場の設定</b> 体育振興会、学校、競技団体、指定管理者等と連携し、ウォーキングコース、ジョギングコース、体操ひろばなどを設定します。	施設の指定管理者等によるスポーツ教室やイベント、体振事業、生涯スポーツ講習会（R3～廃止）、夜間校庭開放事業、健康長寿の取組などにより、気軽に運動できる機会や場を設定。	<b>【指定管理者】</b> 各種スポーツ教室や講座 <b>【体振】</b> 各学区での大会（ペタンク、グラウンドゴルフ、ソフトボール、バレーなど） <b>【市】</b> 生涯スポーツ講習会（～R2。指定管理者の自主事業や民間等で同種講習会等が充実してきたことからR3以降は廃止） 夜間校庭開放事業、地域健康づくりグループ育成事業 ランニングコースの発信等	

	掲載事業	実施状況	主な実績
1 する ス ポ ー ツ	<b>12 ウォーキングイベント等に関する情報発信の充実</b> 各区やウォーキング協会をはじめとする各団体で実施されているウォーキングイベントやコース設定に関する情報を集約、発信することで、市民の身近な健康づくりを支援します。併せて、京都を訪れる観光客にとっても、歩いて京都の魅力を体感・発見できる機会となるよう取組を進めます。	観光スポットを巡り、健康づくりのきっかけとなる京都ツーデーウォークの開催	・京都ツーデーウォークの開催（H30年度：計6コース） ⇒コロナの影響により R2 は中止。R3 はオンラインウォークとして実施
	<b>13 スポーツを楽しむためのプログラムの提供</b> 競技団体やプロスポーツチーム、レクリエーション協会等との協力のもと、各種スポーツ教室や講座の開催、室内で手軽にできるプログラムの開発・提供、指導者の派遣情報の提供などに取り組みます。	各施設で指定管理者を中心に関係団体等と連携したスポーツ教室やイベント、地域における健康づくり事業、体振事業などを実施。	<b>【指定管理者】</b> 各種スポーツ教室や講座 <b>【市】</b> 地域健康づくりグループ育成事業等 <b>【体振】</b> 各学区での大会（ペタンク、グラウンドゴルフ、ソフトボール、バレーなど）
	<b>14 ニュースポーツの普及・振興の取組の強化</b> 体育振興会、レクリエーション協会、学校等と連携し、ニュースポーツの種目の紹介や、色々な種目に親しむ機会の拡充、ルールブック・道具の貸出、新たな種目の開発支援などに取り組みます。	生涯スポーツ講習会の開催（R3～廃止）、学区体振会長対象のニュースポーツ大会の開催、体振事業や指定管理者のイベントでニュースポーツの体験会等を実施。	<b>【市】</b> 生涯スポーツ講習会（R2：11 講座。指定管理者の自主事業や民間等で同種講習会等が充実してきたことから R3 以降は廃止） <b>【指定管理者】</b> ニュースポーツ体験会実施 <b>【体振】</b> 学区体振会長対象のニュースポーツ大会実施（インドアペタンクなど） 市民スポーツフェスティバルで、スクエアボッチャとモルック体験会実施（R3）
	<b>15 障害のある人を中心としたアダプテッドスポーツの普及・充実</b> 障害のある人はもちろんのこと、幼児から高齢者、体力の低い人が参加しやすいスポーツの普及・充実に取り組みます。	障害者スポーツセンター及び障害者教養文化・体育会館の事業をはじめ、スポーツイベントでの体験会等を通して障害者スポーツや誰もが参加しやすいスポーツの普及に向けた取組を実施。	<b>【障害者スポーツセンター・障害者教養文化・体育会館】</b> スポーツ教室の開催、スポーツ大会の開催、パラスポーツ体験会、障害者スポーツ大会への選手派遣、福祉施設や小中学校でのパラスポーツ普及振興など
	<b>16 障害の有無に関わらずスポーツを楽しむ機会の充実</b> 障害のある人が参加できる大会の拡充など障害者スポーツの振興はもとより、従来から実施しているスポーツ大会、スポーツ教室の内容を再検討し、障害のある人もない人も共にスポーツを楽しむことができる機会を拡充します。	障害者スポーツセンター及び障害者教養文化・体育会館の運営や全国車いす駅伝の開催をはじめ、京都マラソンでの車いすの部の開催、障害の有無に関わらず誰もが楽しめるスポーツイベントを施設の指定管理者を中心に開催。	<b>【障害者スポーツセンター・障害者教養文化・体育会館】</b> スポーツ教室や競技体験会の実施（毎年） <b>【市】</b> 全国障害者スポーツ大会への選手派遣（毎年） 全京都障害者総合スポーツ大会の開催（毎年） 京都マラソン車いす競技の開催 おんらいん京都マラソンのエントリー枠に車いす部門の設定（2021、2022） WMG 障がい者部門の設置

掲載事業	実施状況	主な実績
<p>17 <b>親子や多世代で楽しめるスポーツ機会の拡充</b> 親子や多世代で参加でき、家族でスポーツを楽しむスポーツ教室等の充実により、子育て期のスポーツ参加機会や、幼児期からの子どもの体力向上や体を動かす喜びを体感する機会を拡充するとともに、スポーツを通じた家族の絆づくりやコミュニケーションの促進を図ります。</p>	<p>施設の指定管理者によるスポーツイベント、市民スポーツフェスティバルなどの体振事業、京都ツーデーウオーク等の親子や多世代で楽しめる取組を実施。</p>	<p>【市】 市民スポーツフェスティバル みんなのスポーツフェスタ 京都ツーデーウオークの開催（R3はオンラインウオーク） 【指定管理者】各種スポーツ教室や講座 【体振】各学区での大会（ペタンク、グラウンドゴルフ、ソフトボール、バレー、学区民体育祭など）</p>
<p>18 <b>子どもの多様なスポーツ体験機会の創出</b> 幼児期から子どもたちが一度に様々なスポーツを体験できる教室の開催など、特定の競技のみに関わるのではなく、様々なスポーツの魅力に触れることができる機会を創出します。</p>	<p>スポーツ少年団やこども体育館、少年スポーツ広場の運営、施設の指定管理者によるスポーツイベント、各地域での体振事業等により、子どもの多様なスポーツ体験の機会を創出。</p>	<p>【市】スポーツ少年団運営（206団）、青少年向け施設の運営（こども体育館、少年スポーツ広場など） 【指定管理者】各種スポーツ教室や講座 【体振】各学区での大会（ペタンク、グラウンドゴルフ、ソフトボール、バレーなど）</p>
<p>19 <b>「京都スポーツの殿堂」事業の推進</b> 京都ゆかりのトップアスリートを殿堂入りとして顕彰するとともに、殿堂入り者によるスポーツ教室や講演会などの「伝道事業」の充実を図ります。</p>	<p>殿堂委員会の開催による殿堂入り者の選考、表彰式の開催、殿堂ホールでの展示、殿堂入り者による伝道事業などを実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市ゆかりのスポーツ関係者を殿堂入り者として表彰（H22年度～、33名殿堂入り、7名特別功労表彰）</li> <li>殿堂ホールにおいて殿堂入り者の情報を発信（H22年度～）</li> <li>殿堂入り者による伝道事業の実施（R3：田本氏による講演・ソフトボール指導、朝原氏による講演・足が速くなるダンス・陸上教室、釜本氏によるサッカー教室）</li> </ul>
<p>20 <b>ワールドマスターズゲームズ 2021 関西を契機とした生涯スポーツの普及・振興</b> 京都市内を含む関西全域で開催される生涯スポーツの国際総合競技大会「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」の開催準備を着実に進めることはもとより、大会開催を契機として、だれもが生涯を通じてスポーツに親しめるよう、生涯スポーツの普及・振興を図ります。</p>	<p>ワールドマスターズゲームズ 2021 関西（WMG）の開催準備を進めるとともに、機運醸成や関連事業等を通じた生涯スポーツの普及・振興を推進。 ※令和3年10月26日の組織委員会理事会で再延期を決定。新会期については、IMGA（国際マスターズゲームズ協会）と交渉が行われている。</p>	<p>【機運醸成事業の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「関西スポーツの日」及び「関西スポーツ月間」の制定等に係る広報キャンペーン（京都駅前）、1000日前記念イベント（平安神宮）など（H30年度）</li> <li>WMG 2年前記念イベント開催（京都駅ビル駅前広場）、大規模国際スポーツ大会PRイベントの開催（トークショー、スポーツ体験会など）（R元年度）</li> <li>WMG 体験会（スポーツ協会連携）、公共サイン美術展（京都市共催）、プレイベントマスターズ陸上競技京都大会開催（R2年度）</li> <li>オープン競技ペタンク大会開催（R3年度）</li> </ul>
<p>21 <b>関西広域連合を中心とした広域スポーツの振興</b> 関西広域連合における取組として、府県域を超えたスポーツ大会への参加等、スポーツ機会の拡充に努めます。</p>	<p>「関西スポーツの日」及び「関西スポーツ月間」の広報、WMG 関連事業、関西シニアマスターズ大会、関西広域サイクリングルートの設定等の関西広域連合を中心とした取組を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>WMG 関連事業、関西シニアマスターズ大会等、府県域をこえたスポーツ大会等の情報提供</li> <li>関西広域サイクリングルートの設定（京都・奈良・和歌山ルート）</li> <li>関西スポーツの日（5/14）、関西スポーツ月間の設定（5月）</li> </ul>

掲載事業		実施状況	主な実績
1 する スポ ーツ	<b>22 スポーツツーリズムの推進</b> 「京都マラソン」など京都のまちの魅力を生かしたスポーツイベントの開催、プロスポーツの振興、大規模スポーツイベントの誘致促進などの取組により、スポーツを観光資源として観光誘客やまちの活性化につなげるスポーツツーリズムを推進します。	観光スポットを巡る京都マラソンや京都ツーデーウォークの開催、全国駅伝やプロスポーツ等の開催支援、関西広域連合との連携によるスポーツと観光情報の発信や WMG を契機とした観光振興等を実施。	・京都マラソン、京都ツーデーウォーク（R3 はオンラインウォーク）、全国車いす駅伝の実施 ※京都マラソン 2021, 2022 大会は新型コロナウイルス感染症拡大のためオンライン開催 ・全国規模大会の後援、共催（高校駅伝、女子駅伝） ・プロスポーツの開催支援（J リーグ、プロ野球、B リーグ、3×3、女子プロ野球） ・WMG 特別体験プランの公開
	<b>23 文化プログラムと連携したスポーツイベントの実施</b> 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、そのキックオフイベント「スポーツ・文化・ワールドフォーラム」をはじめとするスポーツと文化・芸術が融合したイベントの開催に取り組みます。	京都マラソンや WMG などにおいて、文化と融合したプログラムを実施中。スポーツと連携した文化プログラムとして、スポーツ文化ワールドフォーラムを開催、京都文化力プロジェクトを推進。	・京都文化力プロジェクトの推進（H28～R3 年度） ・「スポーツ・文化・ワールドフォーラム」の開催（H28 年度） ・京都マラソンにおける西陣織のフィニッシュテープ、入賞メダルリボンでの京くみひも、京友禅の使用 ・おんらいん京都マラソンにおける完走メダルリボンでの京友禅柄の使用（2021, 2022 大会は新型コロナウイルス感染症拡大のためオンライン開催） ・ふるさと納税返礼品（京都マラソンオリジナルシューレース）での京くみひもの使用（R3 年度） ・WMG 開会式でのフラワーリレー（オープニングパフォーマンス予定） ・ハンナリーズ試合開催日に合わせて親子で参加できる「和ろうそく絵付体験会」を実施（R3 年度）
	<b>24 オリンピアン・パラリンピアンによるスポーツ教室等の実施</b> 「京都スポーツの殿堂」事業等の取組とも連携して、オリンピアン・パラリンピアンによるスポーツ教室、講演会等の実施により、トップアスリートに直接触れ合える機会を拡充します。	京都スポーツの殿堂入り者による伝道事業をはじめ、オリンピアン等を活用した WMG 関連事業や施設の指定管理者によるスポーツイベント等を実施。	<b>【市】</b> 京都スポーツの殿堂入り者による伝道事業の開催（R3：田本氏による講演・ソフトボール指導、朝原氏による講演・足が速くなるダンス・陸上教室、釜本氏によるサッカー教室） 朝原氏、奥野氏等の PR 大使による WMG の PR イベント実施 <b>【指定管理者】</b> オリンピアンを活用した各種スポーツ講座の実施
2 みる スポ ーツ	<b>25 国際的・全国的規模のスポーツイベントに対応した施設の充実</b> 西京極総合運動公園や横大路運動公園等の競技環境と観戦環境の充実を図るとともに、国際的・全国的規模の競技施設のバックアップとして、各施設の機能充実に取り組みます。	府市協調による西京極総合運動公園や横大路運動公園の整備、宝が池公園運動施設体育館の建設、京都市体育館や武道センターの改修、京都アクアリーナの設備更新による競技環境向上等の取組を実施。	<b>【府市協調】</b> たけびし（大型映像装置、新メインゲート、諸室、トイレ）、横大路（園路舗装整備、照明灯設置） <b>【宝が池】</b> 体育館新設 <b>【武道センター】</b> 特定天井、空調の改修工事 <b>【わかさスタジアム、京都市体育館】</b> 大規模改修工事 <b>【アクアリーナ】</b> メインプール可動床部品、音響設備更新など
	<b>26 環境にやさしい効率的な設備の推進〈再掲〉</b> 太陽光発電やエネルギー効率のよい設備の導入等を積極的に図ります。	太陽光発電の設置、LED 照明等への改修など、環境に配慮した施設の整備、設備の導入を推進。	<b>【太陽光発電の設置】</b> 京都市体育館（H25 年度）、宝が池公園運動施設体育館（R 元年度） <b>【LED 照明への改修】</b> 宝が池公園運動施設体育館（R 元年度）、小畑川中央公園テニスコート（R 2 年度） 武道センター本館（R2 年度）

掲載事業		実施状況	主な実績
2 みる スポ ーツ	<b>27 ひとにやさしい施設の改修・整備〈再掲〉</b> 施設の改修・整備に際しては、観客席、更衣室、通路、トイレなどのバリアフリー化やユニバーサルデザインの理念に沿った施設のあり方を追求します。	トイレ等の改修をはじめとする施設、設備のバリアフリー化、ユニバーサルデザインの理念による改修、整備を推進。	<b>【トイレ改修・バリアフリー化】</b> たけびしスタジアム京都（府市協調：H28年度～）、横大路運動公園（府市協調：R元年度～）、 <b>【ユニバーサルデザインの理念に沿った施設】</b> 宝が池公園運動施設体育館（R元年度）
	<b>28 「京都マラソン」の更なる定着・発展</b> 市民スポーツの振興はもとより、京都経済の活性化や京都ブランドのさらなる向上を図ることを目的とし環境にも配慮した、参加者、応援者、市民が一体となって楽しめる総合スポーツイベント「京都マラソン」について、京都の財産として継承し、更なる発展を図ります。	文化や伝統産業等と融合した京都ならではのおもてなしや市民ぐるみでの盛り上げなど、京都マラソンの更なる魅力向上を図りつつ継続的に開催。	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都マラソン2012から2020まで9回開催 ランナー数：延べ142,347人 経済波及効果（2012～2020）：40,298,000千円 市税増収効果（2012～2020）：934,000千円</li> <li>おんらいん京都マラソン2021 ランナー数：延べ9,862人 ※新型コロナウイルス感染症拡大のためオンライン開催となり経済波及効果、市税増収効果ともに算出なし</li> </ul>
	<b>29 プロチームをはじめとする地域密着型スポーツチームの支援・振興</b> プロチームや企業・社会人チームなど市民がトップレベルのプレイを観戦できる機会の確保・拡充に努めるとともに、チームと市民の交流事業やスポーツ教室等の開催などスポーツを通じた地域貢献・社会貢献に取り組む地域密着型スポーツチームの支援・振興に取り組めます。	施設の優先利用や市民しんぶん等での広報協力、区民デー等の開催、各局区等が実施する事業における連携協力など、プロチーム等の地域密着の取組を推進。	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報活動支援（市民しんぶん等）</li> <li>ハンナリーズホームゲームの正月開催への協力</li> <li>各局区等実施事業における連携協力（ホームタウンデーの実施、DO YOU KYOTO?の普及啓発、伝統産業ブースの設置）</li> <li>スポーツを活かしたまちづくり推進庁内連携チームの設置（R4.2.1に第1回会議を開催予定）</li> </ul>
	<b>30 国際的・全国的規模のスポーツイベントの誘致促進</b> 競技団体や指定管理者等と連携して、国際的又は全国的な規模の競技大会の京都での開催の継続はもとより、新規誘致についても積極的に取り組めます。	全国駅伝の継続開催支援、プロスポーツのリーグ戦、ラグビーW杯関連イベント、WMG開会式及び競技の誘致などを実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラグビーW杯抽選会、パブリックビューイング</li> <li>WMG2021関西（開会式、4競技）（※再延期が決定）</li> <li>女子駅伝、高校駅伝、車いす駅伝の継続開催支援</li> <li>プロ野球公式戦の実施（わかさスタジアム京都、オリックス戦）</li> <li>3×3.EXE PREMIER（平安神宮前）</li> </ul>
	<b>31 スポーツツーリズムの推進〈再掲〉</b> 「京都マラソン」など京都のまちの魅力を生かしたスポーツイベントの開催、プロスポーツの振興、大規模スポーツイベントの誘致促進などの取組により、スポーツを観光資源として観光誘客やまちの活性化につなげるスポーツツーリズムを推進します。	観光スポットを巡る京都マラソンや京都ツーデーウォークの開催、全国駅伝やプロスポーツ等の開催支援、関西広域連合との連携によるスポーツと観光情報の発信やWMGを契機とした観光振興等を実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都マラソン、京都ツーデーウォーク（R3はオンラインウォーク）、全国車いす駅伝の実施 ※京都マラソン2021、2022大会は新型コロナウイルス感染症拡大のためオンライン開催</li> <li>全国規模大会の後援、共催（高校駅伝、女子駅伝）</li> <li>プロスポーツの開催支援（Jリーグ、プロ野球、女子プロ野球、Bリーグ、3×3）</li> <li>WMG特別体験プランの公開</li> </ul>

掲載事業		実施状況	主な実績
2 みる スポ ーツ	<b>32 「京都スポーツの殿堂」事業の推進〈再掲〉</b> 京都ゆかりのトップアスリートを殿堂入りとして顕彰するとともに、殿堂入り者によるスポーツ教室や講演会などの「伝道事業」の充実を図ります。	殿堂委員会の開催による殿堂入り者の選考、表彰式の開催、殿堂ホールでの展示、殿堂入り者による伝道事業などを実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市ゆかりのスポーツ関係者を殿堂入り者として表彰（H22年度～、33名殿堂入り、7名特別功労表彰）</li> <li>殿堂ホールにおいて殿堂入り者の情報を発信（H22年度～）</li> <li>殿堂入り者による伝道事業の実施（R3：田本氏による講演・ソフトボール指導、朝原氏による講演・足が速くなるダンス・陸上教室、釜本氏によるサッカー教室）</li> </ul>
	<b>33 競技団体やプロチーム等への企業支援の促進</b> 国際的又は全国的な規模の競技大会の開催に取り組む競技団体やプロチーム等への民間企業による支援の促進を図ります。	競技団体、プロチーム等の相談に応じて企業と繋ぐなど、連携促進・支援を実施。また、京都府等とともに、企業等を含め地域が一体となって京都サンガを応援するTEAM京都コンソーシアムを設立。	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都サンガを応援するTEAM京都コンソーシアムの設立（R元年度）</li> <li>スポーツを活かしたまちづくり推進庁内連携チームの設置（R4.2.1に第1回会議を開催予定）</li> </ul>
3 支 え る ス ポ ー ツ	<b>34 市民ボランティアのしくみづくり・裾野拡大</b> 多くのボランティアに支えていただいている京都マラソンの取組などを踏まえ、各種スポーツイベントを支える市民ボランティアを、福祉、環境、教育など幅広い分野の市民団体と連携して募集できるしくみづくりを進めるとともに、ボランティア同士の交流促進などスポーツを核としてボランティアの裾野を広げる取組を進めます。	地域スポーツを支えるボランティア組織である体振の活性化を図るとともに、京都マラソンでの個人ボランティアリーダー配置やファミリーボランティア募集等によるボランティア育成、裾野拡大を推進。	<b>【京都マラソン】</b> 京都マラソンボランティア（2012～2020）：延べ約73,200人（学生ボランティアや個人・ファミリーなど様々な方が参加） ※2021・2022大会は新型コロナウイルス感染症拡大によりオンライン開催となったため、ボランティアの募集はなし <b>【体振】</b> 学区民体育祭やその他レクリエーション活動において、地域を支えるボランティアとして活動 <b>【WMG】</b> WMGボランティアの募集
	<b>35 市民の多様な活動を支える人材の育成、活動の支援</b> スポーツの楽しみ方や健康に関する指導からアスリートの育成のための専門的な指導まで、市民のスポーツやレクリエーション活動を支える人材の育成・活動を支援します。また、競技団体等の協力のもと指導者を派遣する出前コーチ制度を創設します。	地域スポーツやレクリエーション活動を支える体振やスポーツ推進指導員の活動支援、競技スポーツ振興事業による競技団体の指導力、競技力強化の取組に対する支援を推進。	体振、スポーツ推進指導員の活動支援 <b>【体振活動】</b> 地域におけるスポーツレクリエーション、各種スポーツ大会の実施 <b>【指導員活動】</b> 審判講習会、全国各地の研究大会に参加（R3中止）、生涯スポーツ講習会の実施（～R2。指定管理者の自主事業や民間等で同種講習会等が充実してきたことからR3以降は廃止）
	<b>36 スポーツ推進指導員制度の充実</b> スポーツの実技の指導者としての役割に加え、企画・立案力を持ったコーディネーターとしての役割を担うために、研修機会の充実などに取り組みます。	スポーツ推進指導員の連絡調整等を目的としたスポーツ推進委員会の運営や講習会の開催、府内・近畿・全国等の研究大会への派遣等による指導力、資質向上の取組を推進。	スポーツ推進指導員の活動支援（指導員活動） 審判講習会、全国各地の研究大会に参加、生涯スポーツ講習会の実施 指導員数：542人（R3.12月時点）
	<b>37 個人・団体・企業等への表彰制度の充実</b> 市民スポーツの振興に貢献のある個人・団体に対する表彰制度の充実に引き続き取り組むとともに、スポーツ振興に貢献する企業等への表彰制度を創設します。	スポーツへの興味、関心を高める顕著な活躍をした個人、団体への京都市スポーツ表彰、地域スポーツの担い手として貢献した方への体振表彰、関西広域連合と連携した関西スポーツ応援企業表彰を実施。	（H23～R3年までの主な表彰実績） <ul style="list-style-type: none"> <li>京都市スポーツ最高栄誉賞：32名・1団体</li> <li>京都市スポーツ大賞：1,049件（個人846件）</li> <li>関西スポーツ応援企業表彰（R元：5件、R2：5件）</li> </ul>

掲載事業		実施状況	主な実績
3 支 え る ス ポ ー ツ	<b>38 京都市スポーツ振興基金の活用</b> 京都市スポーツ振興基金（平成23年度設置）を積極的に活用し、既存スポーツ施設の老朽化に伴う改修や競技・観戦環境の向上のための施設整備など市民の皆様がスポーツに親しめる環境づくりを進めます。	京都マラソンや西京極整備、WMGなどのメニュー設定等により募集したふるさと納税寄付金、ネーミングライツ料等を基金に積み立て、スポーツ振興の財源として活用。	<b>【京都マラソンに係る積立金額(2012～2020 大会累計)】</b> 399,655 千円 <b>【京都マラソンに係る積立金額（2021 大会累計）】</b> （新型コロナウイルス感染症拡大につきオンライン開催） 10,537 千円 <b>【ネーミングライツに係る積立金額（累計）】</b> 1,007,000 千円
	<b>39 ネーミングライツ契約を活用した施設整備〈再掲〉</b> わかさスタジアム京都（西京極総合運動公園野球場）やハンナリーズアリーナ（京都市体育館）の導入事例を踏まえ、新規導入や継続、新たな手法の検討に取り組むとともに、ネーミングライツ収入を効果的に活用して施設の整備・改修を進めます。	ネーミングライツ契約を活用した施設整備、改修を実施。新たなネーミングライツを導入するために、11施設を通称付与の対象施設に設定。	<b>【わかさ】</b> グラウンド全面改修、諸室・スタンド一部改修等（H21年度～）、観客席個席化（R2年度～） <b>【京都市体育館】</b> 耐震・諸室等の大規模改修（H24～25年度） <b>【宝が池フットサル】</b> 人工芝張替え（H30年度） <b>【たけびし】</b> 1種公認継続に向けた芝・走路改修、諸室改修、照明等改修に向けた調査・検討（R2年度）
	<b>40 スポーツ関連情報の総合的提供</b> 市民のだれもがスポーツに関する情報を容易に入手できるよう、施設の利用情報やイベント等の開催情報、様々な団体の活動情報などスポーツに関する情報を集約し、総合的に分かりやすく提供するしくみづくりを進めます。	市民しんぶんや公共施設等におけるスポーツに関する情報の周知広報、施設の指定管理者による情報紙の発行のほか、スポーツに関する情報を総合的に発信するスポーツウェブ京都を運用。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツウェブ京都の開設（H28年度。R3年度から京都市情報館へ移行）</li> <li>・イベント等の開催情報など本市スポーツに関する情報を様々な媒体で発信（市民しんぶん、ダッシュ（スポ協広報紙）スポーツウェブ京都（～R2年度））</li> </ul>
	<b>41 市民に身近な施設の利用促進〈再掲〉</b> 学校の夜間利用など、生活圏にある施設の利用促進を図ります。	夜間校庭開放事業等による学校施設の利用を促進。老朽化した照明設備について順次改修。	<b>【校庭開放事業】</b> 小中学校での夜間校庭開放事業の実施（照明設置 213 校） 学校体育施設開放事業（R3：204 校） <b>【照明改修】</b> 老朽化した照明を順次改修中（R元：4校、R2:6校、R3:5校予定）
	<b>42 ひとにやさしい施設の改修・整備〈再掲〉</b> 施設の改修・整備に際しては、観客席、更衣室、通路、トイレなどのバリアフリー化やユニバーサルデザインの理念に沿った施設のあり方を追求します。	トイレ等の改修をはじめとする施設、設備のバリアフリー化、ユニバーサルデザインの理念による改修、整備を推進。	<b>【トイレ改修・バリアフリー化】</b> たけびしスタジアム京都（府市協調：H28年度～）、 横大路運動公園（府市協調：R元年度～）、 <b>【ユニバーサルデザインの理念に沿った施設】</b> 宝が池公園運動施設体育館（R元年度）
	<b>43 施設の柔軟な管理運営及び良質なサービスの提供〈再掲〉</b> 市民のライフスタイル（暮らし方・生き方）、生活時間の変化により多様化するニーズに応えるため、指定管理者と連携し、施設の開所時間の拡充や無料開放日の設定など管理・運営を柔軟なものとし、良質なサービスを提供します。	一部施設の供用時間の拡大や無料開放日の設定など、指定管理者と連携したサービス向上の取組を実施。	<b>【供用時間拡大、時間外利用の実施】</b> わかさスタジアム京都の供用時間拡大（午前9時～7時、H25年度～） 京都アクアリーナにおいて開所時間（9:00～21:00）外での利用を実施 <b>【正月無料開放日の設定】</b> たけびしスタジアム京都、補助競技場、 宝が池公園運動施設球技場、岡崎公園野球場



	掲載事業	実施状況	主な実績
3 支えるスポーツ	<p>44 競技ニーズの多様化に対応した受入種目の拡充検討〈再掲〉</p> <p>競技ニーズの多様化に対応して、障害者スポーツへの対応を含め、各施設で受入可能な競技種目の拡充を検討します。</p>	<p>一部施設でフェンシングやテックボール、スケートボードの受入を試行実施するなど、利用者、団体等の要望に応じて競技種目を拡充。</p>	<p>【フェンシング試行実施】 伏見北堀公園地域体育館（R元年度）</p> <p>【テックボール試行実施】 岩倉東公園及び桂川緑地久我橋東詰公園（R元年度）</p> <p>【スケートボード試行実施】 宝が池公園，小畑川中央公園，横大路運動公園（R3年度）</p>
	<p>45 体育振興会，体育協会等との連携・協働</p> <p>京都市体育振興会連合会，京都市体育協会，京都市スポーツ推進指導員会，各施設の指定管理者，さらには企業，競技団体，NPO等との連携を強化し，だれもがスポーツを楽しむ機会の提供，生涯スポーツの普及・振興，市民ボランティアの裾野拡大，スポーツ情報の提供などの市民スポーツの振興はもとより，スポーツを通じて地域コミュニティの活性化を図り，地域の絆を深める取組を推進します。また，総合型地域スポーツクラブの育成支援を進めます。</p>	<p>体振やスポーツ推進指導員，スポーツ協会等との連携により誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会を提供するとともに，スポーツ活動を支える市民を拡大し，地域の交流やコミュニティの活性化を推進。</p>	<p>【スポーツ協会】 みんなのスポーツフェスタの開催 WMG 体験会</p> <p>【体振，推進指導員】 ・市民スポーツフェスティバルの開催 ・各学区での大会（ペタンク，グラウンドゴルフ，ソフトボール，バレーなど） ・京都マラソンへのボランティアの参加 ※2021・2022大会は新型コロナウイルス感染症拡大によりオンライン開催となったため，ボランティアの依頼なし</p>
	<p>46 大学との連携・協働</p> <p>各大学との連携を強化し，大学スポーツチームとの協働事業の実施，大学の持つ知識の活用，学生ボランティアなど人的資源の活用，大学と地域の交流促進など「大学のまち」「学生のまち」の強みを生かした取組を進めます。</p>	<p>各大学と連携した全京都大学野球トーナメント大会の開催や京都マラソン，WMGなどでの学生ボランティアの活用，学生の活動と連携した参加者の交流，おもてなしの取組等を推進。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全京都大学野球トーナメント大会開催 ⇒コロナの影響によりR2中止。R3から休止</li> <li>京都マラソンマネジメント・リサーチ・チーム（同志社，立命館，龍谷）と連携し，ランナー，市民，ボランティア調査を実施</li> <li>京都マラソンにおいて，京都産業大学と連携し，学生たちが企画・運営するモザイクアート，古本回収を実施</li> <li>京都マラソンにおいて，京都産業大学と連携し，学生たちが企画・運営するSNSを活用したイベント「走ってメッセージを送ろう！」，「オンライン動画コンテスト」の実施（2021年）</li> <li>WMGでの語学ボランティア，開会式への出演及び運営協力を依頼</li> </ul>
	<p>47 プロチームをはじめとする地域密着型スポーツチームの支援・振興〈再掲〉</p> <p>プロチームや企業・社会人チームなど市民がトップレベルのプレイを観戦できる機会の確保・拡充に努めるとともに，チームと市民の交流事業やスポーツ教室等の開催などスポーツを通じた地域貢献・社会貢献に取り組む地域密着型スポーツチームの支援・振興に取り組みます。</p>	<p>施設の優先利用や市民しんぶん等での広報協力，区民デー等の開催，各局区等が実施する事業における連携協力など，プロチーム等の地域密着の取組を推進。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報活動支援（市民しんぶん等）</li> <li>ハンナリーズホームゲームの正月開催への協力</li> <li>各局区等実施事業における連携協力（ホームタウンデーの実施，DO YOU KYOTO?の普及啓発，伝統産業ブースの設置）</li> <li>スポーツを活かしたまちづくり推進庁内連携チームの設置（R4.2.1に第1回会議を開催予定）</li> </ul>